

No.30 全国にも例のないECO行政先進地域 福島県飯舘村

聞いたことありますか?「村民のための高断熱モデルハウス」ですよ

福島県飯舘村(福島市から東部阿武隈山系)は、公営の建物に早くから高断熱化を取り入れた全国でも希な行政です。これまで、公営住宅17棟45戸、大型高齢者施設、集会場など、高断熱高气密化された施設の建設を進め、内外から高い評価を得ています。

これらの建設には新住協会員も関与しています。

福島県いわき市の(株)呂建築設計(陽田秀夫所長)がそれです。

今、飯舘村では環境省の補助を得て“まδειな家”を建設中です。(写真上)

ここには、福島支部の豊田建築設計(豊田善幸所長)が設計監理者として関わっています。

そんな諸々の関係で去る1月22日見学研修会を開催しました。

どこがすごいかというと、この村で平成10年から建設してきた村営住宅すべてが高断熱住宅で、全室暖房の住まいなのです。(下表参照)おそらくもっと寒い北海道、東北でもこんな行政はないと思います。

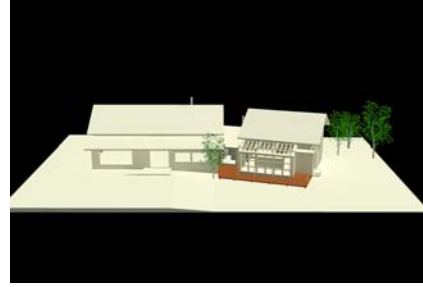
誰が推進してきたかという菅野 典雄(1996年から現在4期目)村長です。発端は「若者定住促進政策」。特別な産業もない人口6000余人の山村。山頂にあって省エネ基準ではⅡ地域になる寒い地域。若者は学校を卒業すると浜通の原町相馬か県都福島市に当然のごとく就職、移転、人口は減るばかり。そこへ登場したのが「若者定住促進政策」、村営住宅を暖かく住みやすくし、40歳までの5年間住めば、家賃を1万円補助するという待遇。政策は見事にあって竣工即満室、今まで空室なしという盛況ぶり。結局表のように高断熱村営住宅45戸建ったのです。そればかりか村の老人施設や集会所などほとんど高断熱高气密を基本性能としています。この村は偉い!と拍手喝采ものです。

この間、建設を担当した職員の苦労も(ここでは割愛しますが)相当なものです。

その飯舘村が今度は村民のためのモデル住宅を建設しています。高断熱は勿論(設計監理 豊田設計事務所 福島支部会員)チップボイラーの採用等、山間の資源を生かしてECOを意識しています。私は、これによって山がきれいになることも期待しているのではないかと推察しています。

とにかく、こういう指導者が首長になって欲しいですね。

私は平成10年の第1期工事完成時菅野村長の話を直接お聞きしました。そのとき以来、飯舘村も菅野村長もいっぺんに好きになっています。



団地名	種別	建設年度	管理戸数	合計戸数	月額家賃	備考
ヴィラうすいし	若者定住	H10	4戸	8戸	40,000円	
		H12	4戸			
笠石住宅団地	公営住宅	H10	6戸	20戸	公営住宅法による	
		H13	6戸			
		H14	8戸			
リベルタふかや	若者定住	H13	6戸	12戸	30,000円	
		H16	6戸			
リベルタうすいし	若者定住	H19	3戸	3戸	35,000円	オール電化
白石村営住宅	一般村営住宅		2戸	2戸	教員専用(白石小)	
合計				45戸		